



交通安全教室

11月2日（月）

奈良県警交通安全課の方に来て頂き交通安全教室の中で交通ルールや交通安全についてお話を聞きました。（4・5歳児）

今年は、各年齢一斉にマイク放送指導で交通安全の話を聞いて、放送終了後リズム室で「横断歩道の歩き方渡り方指導」を少人数で受け実際に歩いてみました。

交通安全放送指導



「みなさん、おはようございます。今日は、みんなに命を守るお話をします。交通事故にあって、とっても痛くて悲しい思いをしないためのお話です。」と交通安全の放送指導が始まりました。



放送指導に合わせて保育士が標識や横断歩道、信号（赤・青・黄）を出してサポートしながら交通ルールについての指導を聞きました。

5歳児 どう組



止まれの標識は、実際に登降所時に見て知っている子どもも多く「小学校の前にあった」など放送指導を真剣に聞いて、問いかけに答えていました。

歩行指導

5歳児 どう組



学んだことを実践で横断歩道を渡って練習しました

まず横断歩道を渡る前に約束をききました。「道路を渡る前に止まります。右みて、左みて、右みて、後ろみて車がきていないかよくみます。車が来てないか安全確認してからわたります。」



子どもは、身近にいる大人の行動をよく見ています。保護者の方は、子どもの手本になり、保護者がまず交通安全に対する理解を深めてほしいというお話がありました。

「戸外でお子様と歩くときは、必ず手をつないで歩いてください。我が子の命を守るためにこの先何かあったらという危機感をもって、保護者自身の守備範囲で子どもを見守ってほしい。ほんのちょっとした行為が事故につながるという意識をもって親も子も一緒に育ててほしい。」という命を守る大切なお話を聞かせていただきました。

子どもから目を離さず大人が手本となって見本をみせて交通ルールや安全行動を教えてあげてください。



4歳児 きりん組



最後にお巡りさんから「歩くときはお家の方と手をつないで歩きましょう。勝手に一人で歩いては？」みんなで声をあわせて「ダメー！！」と手を×にして確認しあいました。